

審判主任	試合場主任	検査所責任者

剣道用具確認証

一般財団法人宮城県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に
即し、下記項目の確認いたしました。

目付： 年 月

所 属： _____

選手氏名： _____ 印

記

- 1) 竹刀関連：検査本数：合計 _____ 本（大会検査所提出本数）
 - 竹刀の長さ（全長）が適正
 - 竹刀の重さが適正
 - 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
 - 先から 6.5cm 部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
 - 先革の長さが適正
 - 中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正
 - 各ピース（竹）の間の隙間がない
 - 破損・ささくれはない
 - 不当な付属品を使用していない
 - 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない
- 2) 小手関連
 - こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の 1/2 以上 を保護している
 - 小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ふとん部最長部との差が 2.5cm 以内である
 - 小手頭部・小手ふとん部の衝撃緩衝能力がある
- 3) 面関連
 - 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
 - 面ふとん部の衝撃緩衝能力がある
- 4) 剣道着関連
 - 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上

別紙

表1 竹刀の基準(一刀の場合)

長さ	対象		中学生	高校生(相当年齢の者も含む)	大学生・一般
	男女共通			114センチメートル以下	117センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女性		400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

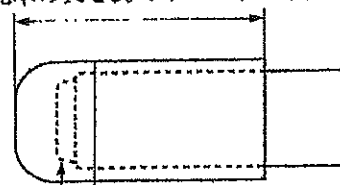
表2 竹刀の基準(二刀の場合)

長さ	対象		大学生・一般	
			大刀	小刀
男女共通			114センチメートル以下	62センチメートル以下
重さ	男性		440グラム以上	280~300グラム
	女性		400グラム以上	250~280グラム
太さ	男性	先端部最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

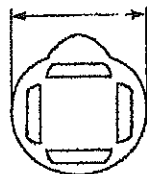
付 剣道試合・審判運営要領

<竹刀の先革長、先端部最少直径値の計測方法>

先革の長さ50ミリメートル以上

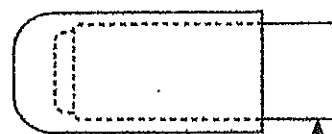


計測位置
(先端から1.5センチメートル)

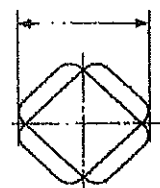


計測位置
(対辺径)

<ちくとうの最少直径値の計測方法>

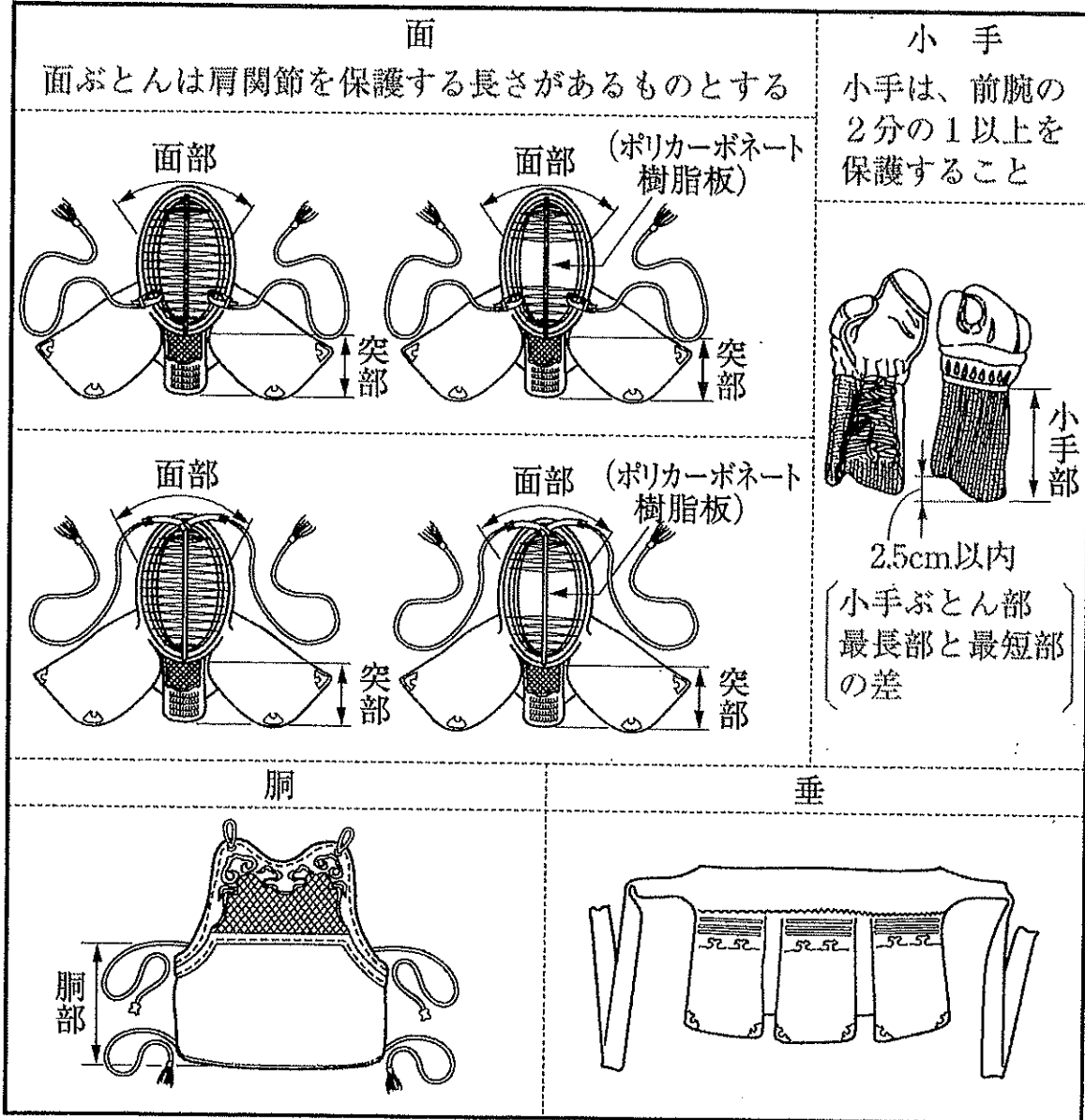


計測位置
(先端から8センチメートル)



計測位置
(対角径)

第3図 剣道具および打突部位



※面ぶとん、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。